



諫早市議会議員

北島守幸

いざ出発! はっきり言います! やりぬきます!

きたじま もりゆき

後援会事務所

長崎県諫早市多良見町化屋35番地

TEL.0957-43-0270

北島守幸ホームページ

<http://www.moriyuki.net/> モリユキドットネット <http://www.moriyuki.net/>

北島守幸ホームページ



みなさま、大変ご無沙汰致しております。新緑薫る5月も終わりのよいよ大好きな6月であります。

6月が大好きなのは誕生日だからです。この世に生を受けて52年。

自分がかつくり自分を意識して40数年ほど(？)6月は世間一般には梅雨時のジメジメイメージですが今は亡き母が山ほどあった農作業の合間に生んでくれたことを思えば体の内側からたぎるようなエネルギーが湧き出てきます。

21世紀を生き抜く子供たちの為のお手伝いを体の続く限りさせていたただきたいと思っております。活気ある「まち」づくりを提案して参ります。

【一般質問】

平成十九年

第一回三月 定例会



少子化対策は急務

現実として、小さな子ども姿が目に見えて減ったことは、直接肌で感じています。子を産めるチャンスとその土壌がある人、ある夫婦、ある家庭において、一人また一人と、子どもをふやす社会のシステムづくりをしなくてはならないと思います。子育て世帯優待事業の推進は、お金をかけない、ぬくもりのある発想の具現化の一つだと思います。

住民が求める真のサービスとは何か、また市職員のライセンス取得に対する優遇支援システムを構築せよ住民、市民が困っているとき、適時のアドバイスをくれるのは、やはり受け持ちの仕事における専門的能力、経験だと思えます。取得しているライセンスをお持ちの職員に対し、適格な部署に配置されていると思いますが、これから配置される際には、十分考慮してほしい。あわせて、庁外からのこついった免許取得者、経験者のいわゆる外野席からの採用はお考えの中にあるのかないのか。

- 長崎街道についての思い
- 大学と連携した地域活性化はできるはず
- 旧神戸発動機工場の解体に伴う周辺環境等を整えよ
- 旧多良見中央公民館の利用再開の時期はいつに?

第二回六月 定例会

行政運営について思うこと

市政懇談会について少人数でのものができないか。地域審議会は何を目標とし取り組まれるか、どれくらいの頻度で開催されるか力点はどのあたりにあるか。自治会：これまでそしてこれからをどう運営されていくのか。

老人会：頼りになる、動ける組織だと思います。高齢化イコール老人が多いという社会こそ、活性化ができる。教育：土曜授業復活について、ゆとり教育の検証は十分になされたのか。授業数の増が即学力アップにつながるのか。

学校教育のいくつかにつき思うこと

小学校での集団体験とはどういったものを指すのか。学校問題解決支援チーム。学校・子どもに関する諸問題についての問題解決を委員会なりチームを作ろうという考えであられるようですが、どういう体制で、どのように稼動していくのか

観光宣伝事業におけるボランティアガイド育成事業はうまく稼動しているか

第三回九月 定例会

長崎市及び大村市との協調、連携は必要かつ有益だと思えます。元気がない長崎県という観点からすると、例外的に力のある、将来性のある近隣市ではないかと思えます。この3市が何かにつけ近い存在として協調、連携をしていけば、長崎県だけでなく、九州の西側の一大拠点として、もっと言えば、日本の西側の拠点として脚光を浴びることができないのではないだろうか。

林業事業を本来の産業に育てよう

林業は、生業として日の目を見ることがあるのか。今後、森林所有者がなすべきことや、市が森林所有者に支援すべき点はどこにあるのか。長崎環境保全税の使い方と市への配分について。

出来立ての市観光協会について

この春より観光協会が新市全般にでき上がりました。今まで観光協会のなかった多良見、森山、飯盛、小長井、こうい地域においての普及活動、そういう人たち、住民に対する周知徹底及び観光協会が今あるいは以前からも目指していたものは。

歩車分離式信号機について

第四回十一月 定例会

企業誘致を積極的にせよ即雇用につながる若者の定着

実績と今後の見通しについて。用地の整備は十分に把握されているか。整備もなされているか。工業用水の確保は。企業に対してセールの取り組みはされているのか。新卒者、Uターン、EターンあるいはJターンの雇用状況は。

市内周辺地域の商業活性化は中心部と同時進行的に進めてほしい

中心市街地活性化とかコンパクトシティとか、やはり言葉のように人々の会話に登場する時代になりました。その一方で、いわゆる端々のそこで商売をなされている個々の店々にも、光を当てないといけないと思います。コンパクトシティという発想も現実も、中央に一つだけということではなく、所々にコンパクトな「コンパクトにぎわいゾーン」ができなければいけない。

地場産品の販路拡大とアンテナショップについて

市営住宅の管理上の問題と入居者意識、市当局の取組み、改善を

子どもの基礎体力について

平成二十年

第一回三月 定例会

「ふるさと納税」市をPRするチャンス。市への収益増加策を急げ

ふるさと納税は、諫早市をPRできるいい機会だと思えます。どのような取り組みを考えているのか。

「平和」は日々の努力の上にある

今年の8月9日は土曜日にあたります。登校日を変更することなく、公立全小中学校が平和を考える一日として大切にすべきだと思つ。学校単位で判断せずに、本市全体で登校日にすることはできないものか。

